

ホロコースト記念日

2011年5月1日 アシェル・イントレーター

5月2日月曜日は、第二次世界大戦中に殺された6百万のユダヤ人を覚えるホロコースト記念日です。ホロコーストはユダヤ人の歴史の中で最も形成的な出来事の一つです。それはエジプトからの大脱出、第二神殿の破壊、イスラエルの建国に続くものです。

ホロコーストはユダヤ人にとって、キリスト教世界にとってのイエシュア（イエス）の苦しみにあたります。（イザヤ 53 章の古典的なラビの解釈は、それはユダヤ人の苦しみを表す。）現在イスラエルでたった 20 万 8 千名の生存者が残っているのにすぎないのです。ホロコーストはユダヤ人の心に影響を与え続けています。イスラエルが強固な軍事力を維持し続ける理由の一つは、再びそのような大量虐殺が起こるかもしれないという恐れがあるからです。預言によると、それは起こる可能性があるのです（**ゼカリヤ 13:8**）。現在の外交、メディアそして聖戦の傾向によると、それは不可避に思えます。

現在 6 百万人を超えるユダヤ人がイスラエルに住んでいます。この数字はホロコースト犠牲者と明らかな対比となっています。全国で 2 分間の黙禱が響き渡る戦争サイレンの音と共に捧げられます。世俗派ユダヤ人も宗教派ユダヤ人も同様に殺されたので、ホロコーストはユダヤ人の中で特別な一致要因を構成しています。（イントレーター一族の親類縁者の大半、すなわち私の祖父のいとこたちや親類は殺されました。）[ある正統派ユダヤ人は、メシニックジューはユダヤ人ではないと主張します。しかし私の民を殺したいと思う者にとって、私たちとの間に何の差も見ないのです。]

ある人物の心に残る興味深い物語があります。ブランコルスティグ氏は 78 歳で、彼は「シンドラーのリスト」や「グラディエーター」で 2 度のオスカー受賞者となった人物です。彼はホロコースト記念日にアウシュヴィッツの収容棟 24 番の前で、バー・ミツヴァ（訳注：ユダヤ人の成人式）を行う予定です。彼は 10 歳の時クロアチアの古里の町から死の収容所へ連行され、13 歳の時、まさしくこの収容棟で囚人であったため、通過儀礼である成人式を行うことができませんでした。

王子と王女

20 億人の人がウィリアム王子とケイトさんの結婚式を観たと報告されています。世界は王子や王女たち、王族に魅了されています。彼らの映像は英国で、そして世界中で驚くべき影響力を大衆にもたらします。すなわちウィリアム王子は国王や女王たちの子孫であり、ケイトさんは単に彼と結婚するというだけで。

聖書は私たちに、イエシュアへの信仰を通して私たちは神の息子であり娘であると教えます。そして私たちには同様に主に対する結婚のような契約を結んでいます。もし神が国王であり、私たちが主

の子どもたちであるならば、それは私たちをどのような存在とするのでしょうか。その通りです。王子や王女なのです。私たちがプリンス・イエシュアの息子や娘たちであることに比べると、チャールズ皇太子の息子であることはほんの小さいことなのです。ウィリアム王子やチャールズ皇太子は血縁による王子です。私たちは霊的な生まれ変わりにより神の子どもなのです。

「あなたは私たちの中にあって、神のつかさです」(訳注:英訳は、「私たちの中であなたは神の王子なのです」)創世記 23:6。「**私たちが神の子どもと呼ばれるために、事実、いま私たちは神の子どもです。御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。世が私たちを知らないのは、御父を知らないからです。**」ヨハネ 3:1

ケイトさんには結婚以外王族に対する権利がないように、私たちもイエシュアとの契約なしでは、神性に対する権利がないのです。しかし、契約は彼女にとっても私たちにとっても同様に機能するのです。もし私たちが神の王子や王女としての身分を理解することができるならば、世界から自分自身を浄め、契約の意味を把握することができるならば、私たちは英国の王子や王女たちよりも遥かに影響力を持つことになるのです。

ペンテコステの祈り

イスラエルのメシアニック・ジューイッシュ同盟の推奨により、そしてイスラエルの地元の牧師たちや祈りの家の協力により、私たちは皆様をシャヴオット(ペンテコステ)前夜祭の、12時間の国際祈りの見張り番に参加して頂きたくご招待したいと思います。今回の執り成しの祈りと断食は6月7日火曜日夜10時から8日水曜日の朝10時までで、これはイスラエル時間です。(訳注:日本時間は6/8朝5時から6/8午後5時まで)中心となるテーマは**使徒 2:17**と**ヨエル 2:28**に預言されているように世界的な聖霊の注ぎを促すためのものです。

「神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。」

祈りのグループ、祈りの家、コングリゲーションそして教会、ヨーロッパ人、アラブ人、アフリカ人、アジア人、そしてアメリカ人など皆、イスラエルにあるメシアニックジューの共同体でのこの預言的な祈りのイベントにご招待し、加わって頂きたいと存じます。私たちは組織としての情報と祈りのガイドラインを次の数週間の内にお送り致します。現在は、どうかこの日をあなたのカレンダーに記録し、あなた方の友人たちにお知らせ下さいませよう、よろしく願い致します。

ファタハとハマスの同意

マティ・シヨシャニ

ハマスがガザ地区を暴力で支配したことから始まったハマスとファタハの4年間の分裂は終わろうとしています。彼らは力を合わせようとしているのです。

ハマスとファタハはパレスチナの共同政府をうち立てるためにガザ地区と西岸地区で一般選挙を行うようとしています。ハマスの要求は「聖戦以外にはパレスチナの問題を解決する術はない。」と述べており、イスラエルとのいかなる公的な会談を無駄なものとしています。

これらの最近の活動は9月に一方的なパレスチナ独立宣言を国際的に推す活動の一部なのです。これは国連人権委員会 (UNHRC) の、非常に反イスラエルのイベントである「差別に反対する週」と組み合わせているものです。

イスラエル当局はイスラエルに迫っている「外交的急襲」について話し合っており、パレスチナ人に対して土壇場の意思表示を政府が行うよう呼びかけています。

パレスチナの当局はイスラエルが提案してくることを継続して無視し、さらに外交的にイスラエルを孤立させようとしています。

イスラエルを世界の外交的なつまはじき者としてレッテルを貼ろうとするこれらの意図的な行動は、イスラエルを孤立させ、イスラエルを支持する残りの関係国を遠ざげるためです。100もの国家がイスラエルの主権と公的なイメージに打撃を与えようとするそのクライマックスが近づくにつれ、この外交的偽善に対し、どうか続けてイスラエルと共に立ち続けて頂けるようお願い致します。